

明日を拓く②

人と出会い、語り合い、関係を紡ぐ

県生徒指導推進室と懇談しました



県生徒指導推進室との懇談の様子

8月25日(月)の午後到大分県生徒指導推進室の阿南室長補佐と指導主事との懇談の場を持つことができました。星の会からは、加嶋さん・中島さん・安部さん・佐藤さんが出席しました。

「子どもが不登校になった時は、自分のことで精一杯で子どもの気持ちを理解する余裕はなかったです。」と、当時の親の思いを伝えると、頷きながら理解を示してくれました。今後、親支援について星の会が協力できることは協力したいと伝えました。

懇談を持つことができた団体・個人

- 新日本婦人の会 ○佐伯市社会福祉協議会
- 城東中学校村上先生(不登校担当)
- 「共に生きる」代表江藤さん ○大分県生徒指導推進室

一生懸命に生きている子どもの「今」を信じる

別府講演に二五名の参加

■「来て良かった」これば率直な感想でした。

小学校中学年から不登校の兆しがではじめ、中学に入学して2ヶ月経ったところで全くいかない状況になりました。「学校に行かない」も含めて受け容れようと思うもののどうしたら良いかわからない状況の時、友人に紹介され講演会に参加させて頂きました。思いあたるところも多く、本当に話を聴けて良かったと思いました。ありがとうございました。

■「子どもの将来を信じるのではなく、一生懸命生きている子どもの今を信じる」「命の存在として見る」という言葉や、「いろいろ苦しみながら、くり返しながらか親になる」という言葉は、親子の関係だけでなく、夫婦の関係にも言えることだと気づかせて頂きました。人間関係全般に言えることかもしれないと思いました。

おねがい

原稿をお寄せ下さい

<メール>toiawase@hoshinokai.net

<FAX> 0972-24-3557

- 例会に参加した感想 ●体験をまとめたもの
- 最近の子どもの様子 ●伝えたい情報
- 親の会の紹介 ●その他不登校に関すること

原稿は、メールかFAXか郵便で加嶋まで送って下さい。

掲載の際に匿名・イニシャルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

また、紙面の都合等で、原稿を修正・省略することがあります。ご了承下さい。

こんにちは、アンダンテ星の会は、引きこもりを考える親の会です。

アンダンテとは音楽用語で「歩くような速さで」という意味です。

例会は3ヶ月に一回、日曜日の午前中に大分市で開いています。

前回も和やかな雰囲気の中、7人の参加で会は始まりました。アンダンテでは司会進行も記録もほとんどありません。みんながそれぞれの子どもの様子や言葉、行動、気付いたことを語り合います。

「何もする気にならない」「自分は病気かもしれない」「もうずっとこのままで良い」「何年も部屋から出てこない」…そんな中で、親の不安になる気持ちや、子どもの状態に惑わされること、少しの変化に上下に大きく

アンダンテ星の会

引きこもりを考える親の会

紹介

紹介

揺れる気持ちが出てきます。

また、他の人の話に驚いたり、一緒に喜んだり、笑ったり…泣いたり。そうした時間の中で、止まっていた心を少しだけ軽くし、気持ちが晴れる場所になっているのかなと思います。

「だってこんな話できる場所はどこにもないんだもん」と笑いながら、また3ヶ月後に会おうねと会は閉じます。

子どもが学校や仕事に行かなくなって引きこもっている、ずっと元気にならない、動き出す気配がない、何かを始めてもすぐに辞めてしまう。そんな悩みがある方は一度アンダンテに来てみませんか？

問い合わせは衛藤まで 090-7392-2206

あなたの力を貸して下さい

出会いと学びを求めて参加してみませんか

民教連の実行委員会で…

日時：10月18日(土) 10:00~12:30

場所：ニューライフプラザ (別府ビーコンプラザ前)

星の会 20周年実行委員会で…

日時：9月14日(日) 13:00~16:30

場所：大分市南部公民館

「よりそうということ」

—子どもの居場所はどこか—

加嶋文哉 さん

「言葉の力」

今村豊治 さん

お尋ねは加嶋 (0972-24-1669) まで

次回予告

○昼の大分例会…10月4日(土) 13:00~16:30

○別府例会…10月4日(土) 19:00~21:00

○豊後大野例会…10月2日(木) 19:00~21:00 (講演会)

○津久見例会…10月10日(金) 19:30~22:00

○夜の大分例会…10月17日(金) 19:00~21:30

変更する場合があります、会報で必ず確認して下さい

次号の会報発送作業予定日は、9月25日(木)です